

入学者の選抜に関すること

新潟工業短期大学

1. 選抜の基本方針：

入学者の選抜は、公正かつ妥当な方法により、適切な体制を整えて行います。アドミッションポリシーに基づき、入学者に求める力を多面的・総合的に評価します。

2. 合否判定の方法及び基準：（令和8年度入学者学生募集停止）

合否判定は、中立かつ公平・公正な意思決定が行われるよう、入試委員会や入試委員会等の合議制の会議体で行います。

3. 合理的配慮の提供に関する対応方法：

健康状態及び障がい等により、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願開始日の1か月前までに本学までご相談ください。

なお、事前相談は、受験生の負担減や公正性に配慮するために行うものなので、相談することにより受験生に不利益を与えるものではありません。

4. 入学者選抜における学力の3要素の評価と活用について：

本学では、学力の3要素として、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について評価を行います。

提出書類や選考試験等の評価対象における評価の内容等は以下のとおりです。

評価対象	評価の内容
調査書	高等学校における知識・技能の修得状況の評価した資料として選考に活用する。
推薦書	入学希望者の学修や活動の成果を踏まえ、主体性等を評価し選考に活用する。
志望理由書	本学への関心、意欲から主体性等を評価し、選考に活用する。
課題レポート	記述により、自らの考えを立論し、さらにそれを表現するプロセスを通して思考力等を評価し、選考に活用する。
活動報告書	教科での学習や、総合的な学習の時間、課外活動、学校行事、生徒会活動、部活動、資格・検定、各種大会、ボランティア活動など記載内容から、知識・技能、主体性等を評価し、選考に活用する。

学修計画書	高校で意欲的に取り組んだ活動を通して、本学での学びの期待や、卒業を見据えた目標などから、思考力等を評価し、選考に活用する。
学力試験（数学・物理基礎）	記述により、自らの考えを立証し、さらにそれを表現するプロセスを通した評価を選考に活用する。
面接	本学の関心、意欲を評価し、選考に活用する。
履歴書	本学への関心、意欲を評価し、選考に活用する。

5. 入試区分ごとの評価対象物

	総合型選抜	学校推薦型	一般選抜	社会人特別選抜
調査書	○	○	○	—
推薦書	—	○	—	—
志望理由書	○	○	○	○
課題レポート	—	○	○ (A)	○
活動報告書	○	—	—	—
学修計画書	○	—	—	—
学力試験 （数学・物理基礎）	—	—	○ (B)	—
面接	○	○	○	○
履歴書	—	—	—	○

6. 試験問題の出題意図

- 出題科目：数学（数と式、二次関数、図形と計量）および物理基礎（運動、力とその働き）
- 出題の目的：これらの科目は、大学での学修に必要な基礎的な学力を測ることを目的としています。特に、数理的な思考力や論理的な問題解決能力を評価することを重視しています。
- 評価の観点：試験問題は、受験生が高校段階で習得すべき基本的な知識・技能を適切に理解し、応用できるかどうかを評価することを目的としています。
- [数学試験問題](#)、[数学試験問題回答例](#)、[物理基礎試験問題](#)、[物理基礎試験問題回答例](#)

7. 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数について

【令和7年度】

(単位：人)

入試区分	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合型選抜	9	9	9	9
学校推薦型	20	20	20	20
一般選抜	4	4	4	3
特別選抜・社会人	0	0	0	0
留学生	110	106	96	71

【令和6年度】

(単位：人)

入試区分	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合型選抜	6	6	6	6
学校推薦型	24	24	24	24
一般選抜	6	6	6	6
特別選抜・社会人	0	0	0	0
留学生	161	152	134	104

8. 多様な学生の受け入れ（令和7年5月1日現在）

国籍：ネパール（108人）、スリランカ（27人）、ベトナム（14人）、中国（12人）、ミャンマー（7人）、モンゴル（2人）、バングラデシュ（2人）、パキスタン（1人）

以上